



= いまの憲法が私たちの暮らしを護る =

## 米軍基地からコロナ感染

## 日米地位協定問題あらわに

新型コロナウイルスの猛威がようやく収まったと安心したのも束の間で新年早々に今度はオミクロン株の感染が予想外のスピードで広がっている。今のところ重症化リスクはこれまでの株より低いといわれているが感染拡大の勢いから医療機関の逼迫が予想される。

見過ごしていけないのは沖縄、山口、広島などは米軍基地からの市中感染が爆発的に広がっていることだ。アメリカ側の対応や情報提供不足に自治体が怒りの声をあげている。いくら日本側が日夜検査や隔離などの対応に必死になったところで日本中の米軍基地が抜け穴となり感染を拡げてしまつては何もならない。

そこに日米地位協定の問題がある。米軍基地は日本の中であつても米軍の管理下にあり、日本側の法の下にはないのだ。アメリカでは2回のワクチン接種をすませた人やPCR検査陰性の人はマスクをしないで市中を歩き回つていたり、ずさんにも本国を出る際の検査を受けないで来日していたと聞く。今までも度々米軍機からの落下物、騒音また治安問題で住民に犠牲を強いてきた。一向に改善されないまま今日に至っている。1960年の発効から一度も改定されていない日米安保条約、地位協定の見直しをしつ

かり考えてみる

必要がある。

岸田首相は地位

協定は変えないと

断言しているが、世界的なパンデミックの事態なのに国民の生命より米軍との協定の方が大事なかと不信感が募る。

イタリアやドイツにおける地位協定は米軍のなすがままではなくもつと自国の法治下に行っていると聞く。

県の70パーセントが基地になつてしまつている沖縄の玉城知事が「これは日米政府の構造的な問題だ」と怒りをあらわにしているのはもつともなことだ。

## 九条通信の配布者募集

九条の会をもっと広めるためお手伝いできませんか。ご自分のできる数でOKです。ご連絡いただければお届けします。

事務局 04-7129-4297(日)



## 今月の予定です

\_ 皆さん 気軽に参加ください \_



2月6日(日) 13:30 ~ 16:30

DMD 福祉と意見交換 なぜ一代年寄になれなかったのか\*横綱白鵬と南部梅郷公民館 日本社会 南地域九条の会

2月9日(水) 16:00 ~ 17:00

9の日 九条通信配布・ボードでアピール 梅郷駅 通路 野田・九条の会

2月12日(土) 13:30 ~ 16:00

野田・九条の会 2月例会 意見交換 「自衛権について」 櫻のホール 第2集会室 野田・九条の会

2月19日(土) 13:30 ~ 16:00

学習会 「えっ!知らなかった、私たちの近くのケン東海第二原発」 総合福祉会館 第3会議室 野田・九条の会 放射能汚染から子供たちを守る会

2月21日(月) 13:30 ~ 15:30

テレートク ちょっと暖かな 《申込み先》 n.katagiri88@gmail.com (片側) Google meet 「おしゃべりカフェ」 野田・九条の会 気軽に暮らしと政治をおしゃべりして見ませんか

3月6日(日) 13:30 ~ 16:30

DMD 福祉と意見交換 逆転人生「娘が残した宿題 &amp; 冤罪軌跡の逆転」 社会を変えた医療体制 南部梅郷公民館 南地域九条の会

コロナの感染状況で変更・中止することがあります。

## シリーズ 私たちの憲法

## なぜ 憲法に国家緊急権は無いのでしょうか。

日本国憲法には国家緊急権(緊急事態条項)が明記されていません。旧憲法(大日本帝国憲法)には国家緊急権の規定が四つ(緊急勅令、戒厳大権、非常大権、緊急財政措置権)ありました。あつたのに無くしたのはなぜでしょう。その理由を新憲法制定時の担当大臣が明確に述べています。

金森國務大臣の答弁を要約すると以下の内容となります。ときの権力者による**濫用の危険があるから国家緊急権は憲法に規定しないと説明しています。**

金森徳治郎國務大臣答弁  
昭和21年7月15日(帝國憲法改正案委員会  
議事録より)

- 1 民主政治を徹底するため
- 2 立憲主義の破壊を防ぐ
- 3 議会制を維持するため
- 4 平常時に法律の整備しておく

国家の非常事態対応には**平常時にしっかり法律で整備しておく**ことで対処するという事です。衆議院の解散で立法できない時は参議院の**緊急集会**で対応することになります。



### □ なぜ中台関係悪化を煽る

このところ中国と台湾の関係を危ぶむ報道が目立つようになってきた。中国が数年のうちに台湾へ侵攻するのではないかという論調を基にそれぞれ置かれた立場で主張している。



米国は中国の侵攻を良しとせず、行えば行動せざるを得ないと中国に自重を促し、中国は台湾の独立を認めず内政干渉を拒否と主張する。

大国同士の経済・軍事は複雑に絡み合い、相互の動きが与える影響は国際社会にははかりしれない。しかも中台間が紛争に発展すれば日本はその渦中に巻き込まれるのは確実だ。

紛争が現実化すれば日米同盟また自由主義社会を守れとの掛声が一気に高まり国土が戦場となるだろう。戦争を国民は望むはずもなく避けよう、またそうする政治を求めることは当然と考える。だが逆に「台湾有事は日本の有事」と発言する安倍首相は、中台を紛争へ煽り立てようとする動きを鮮明にする。政権を離れ元首相となっただけで影響力を保とうとするその姿には国民の平和の願いは通じないようだ。

### □ 独裁条項を狙う

権力を握り7年8ヶ月改憲に至らなかった元首相の口出しするところはここをチャンスと捉えたいのであろう。改憲四項目のうち自民の本

命は緊急事態条項だ。安倍元首相は自衛隊は安保法制で集団的自衛権容認の下にあり米軍と共に行動し実質的には九条は無力化できたとし、憲法も停止できる緊急事態条項を是非とも最終目標として手に入れたいのであろう。自衛隊の明記を含む三項目はダミーとなろう。改憲への常道はまず敵を作り危機感を煽ることにより国民感情の地ならしをすること、それには中台間の危機は好都合だ。高市政調会長の防衛費倍増GDP比2%をもとに独裁条項を是非と考える。

ここには元首相の影響力、権力欲しかみえず、日本を危うくし国民に奉仕すべき姿は霞んで見える。

### □ 日本の責任と名誉

今日の中国と台湾の関係には日本が大きく関わった歴史がある。日清戦争で勝利した日本は、国際地位を高め、列強と覇権を争い大陸へ進出する基礎を築いた。また割譲された台湾、澎湖島を太平洋戦争敗北まで50年にわたって植民地支配を続けた。いまなすべきことは中台問題を戦争に発展させないよう平和国家として日本の名誉にかけ国際社会へ貢献することである。

米国は対中戦争を研究し勝敗を冷静に判断している。有事となれば日米中台が悲惨な状況に陥ることは目に見えている。戦禍につながる緊急事態条項は不要で、大国に挟まれた我国の外交力をいま発揮するときといえる。

# えっ!

知らなかった、  
私たちの近くの

## 危険原発

### 学習会

⇒東海第二原発再稼働の問題点を学習します。

2月19日(土) 13:30から  
○総合福祉会館 第3会議室  
○参加費 300円

講師は運転差し止め裁判訴訟団  
共同代表の大石光伸さんです。

主催 野田・九条の会

寄りかからず

茨木のり子

もはや  
できあいの思想には寄りかかりたくない  
もはや  
できあいの宗教には寄りかかりたくない  
もはや  
できあいの学問には寄りかかりたくない  
もはや  
いかなる権威にも寄りかかりたくはない  
ながく生きて  
心底学んだのはそれぐらい  
じぶんの耳目  
じぶんの二本足のみに立っていて  
なに不都合のことやある  
寄りかかるとすれば  
それは  
椅子の背もたれだけ



谷川俊太郎選  
茨木のり子詩集(岩波文庫)